

## 第88回医事研究会

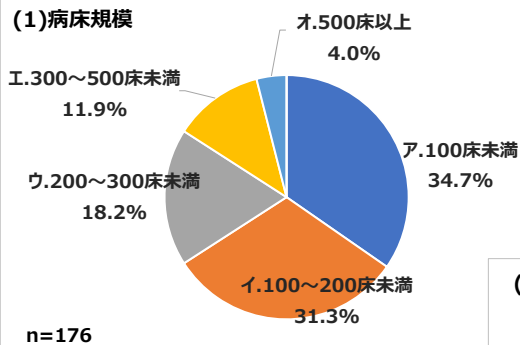
# 新型コロナウイルス感染対策に関する アンケート集計結果報告

2020年11月30日（月）

大阪府私立病院協会 医事研究会運営委員

### Q1.ご回答いただいた医療機関の概要について

#### (1)病床規模

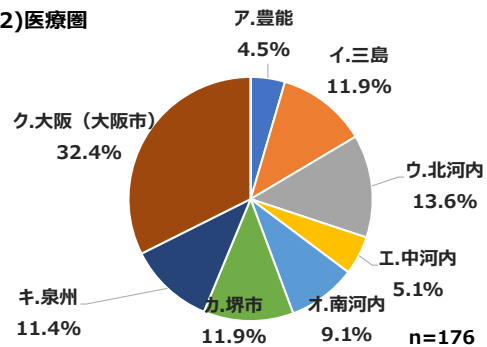


アンケート参加医療機関の総数(n)は176、配布総数303に対し、回答率58.1%。

病床規模では200床未満が66%を占めている。概ね大阪府の医療機関の病床別構成に近い分布での回答。

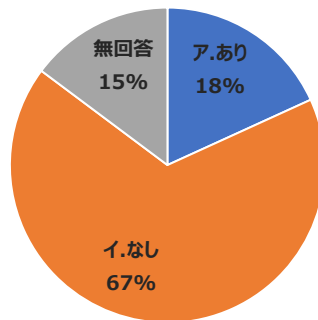
医療圏別の分布では医療機関数の構成とは異なる比率の(特に豊能・中河内が少なく、堺が多い)分布だが、全ての医療圏から回答いただけている。

#### (2)医療圏



## Q2.新型コロナウイルス患者対応について

### (1)新型コロナウイルス感染患者（陽性）の入院受け入れ実績



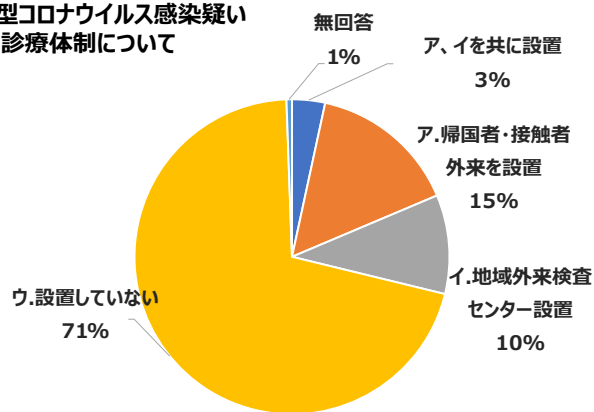
n=176

新型コロナウイルス陽性患者を入院で受け入れた実績があると回答した病院は、全体の18%に留まっており、帰国者・接触者外来または地域外来検査センターを設置している病院の割合(Q2設問(2))と比較しても少数である。

新型コロナウイルス陽性患者の入院についてはフォローアップセンター通してなどにより、重点・協力医療機関等へ紹介をするケースが多いと思われる。

## Q2.新型コロナウイルス患者対応について

### (2)新型コロナウイルス感染疑い患者の診療体制について

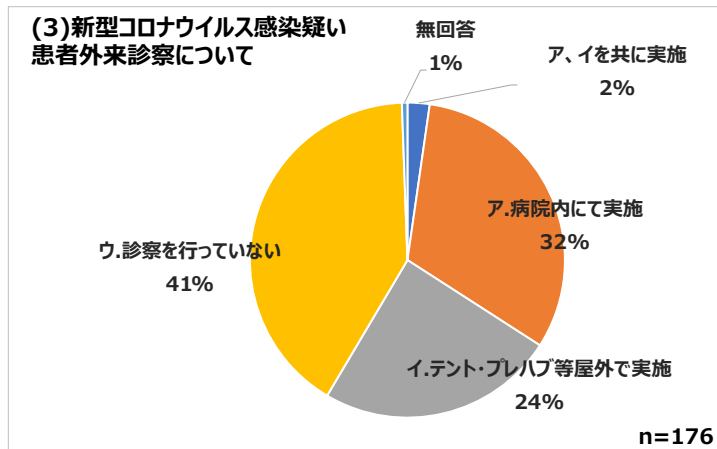


n=176

新型コロナウイルス感染疑い患者の診療体制として、帰国者・接触者外来または地域外来検査センターを設置している病院は30%に満たない。

ただし、「ウ.設置していない」と回答した71%の中には、帰国者・接触者外来に準ずる体制を有した病院が20%程度含まれていると考えられる。(Q2設問(5)の回答との比較)

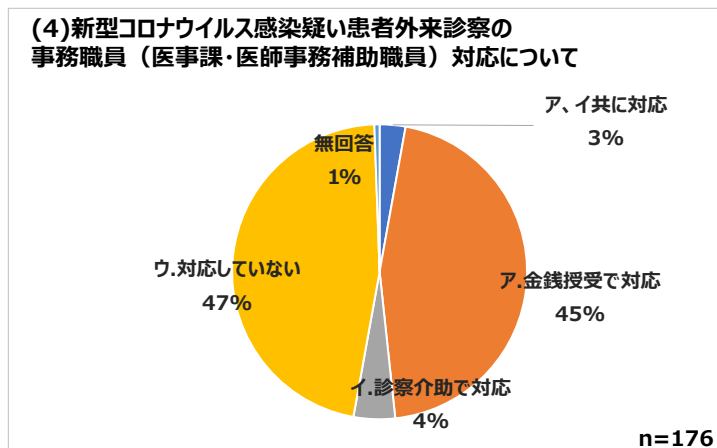
## Q2.新型コロナウイルス患者対応について



新型コロナウイルス感染疑い患者の外来について、感染拡大予防の観点からテント・プレハブなど屋外で診察を行っている病院は24%という結果であり、病院内で診察している病院(32%)より少数であった。(※なお、テントやプレハブ等による診療は現在特例措置として医療法上の届出は不要とされている)

一方で、新型コロナウイルス関連の外来診療自体を実施していない病院が41%であった。

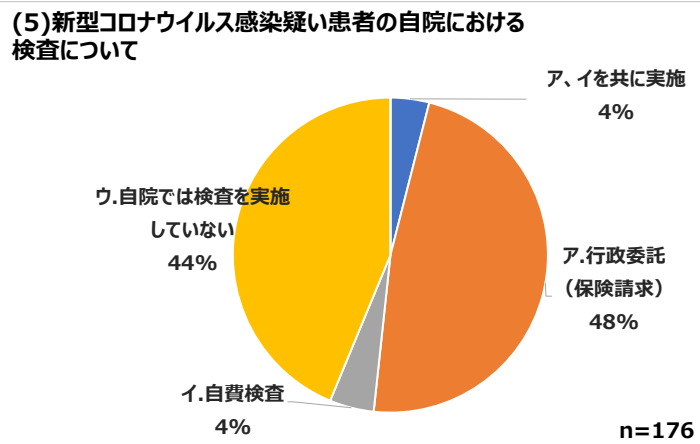
## Q2.新型コロナウイルス患者対応について



新型コロナウイルス関連の外来診察への事務職の関与について、診察介助までの対応は7%と少なく、感染防止のため事務職の「診察行為」への関与を避けている病院が多いと思われる。

また、Q2設問(3)で新型コロナウイルス関連の外来診察を実施する病院は58%あったが、この設問における事務職員の対応実施率は52%であり、外来診察の流れに事務職が全く関与しない病院(金銭授受も看護師が実施など)が6%程度あると考えられる。

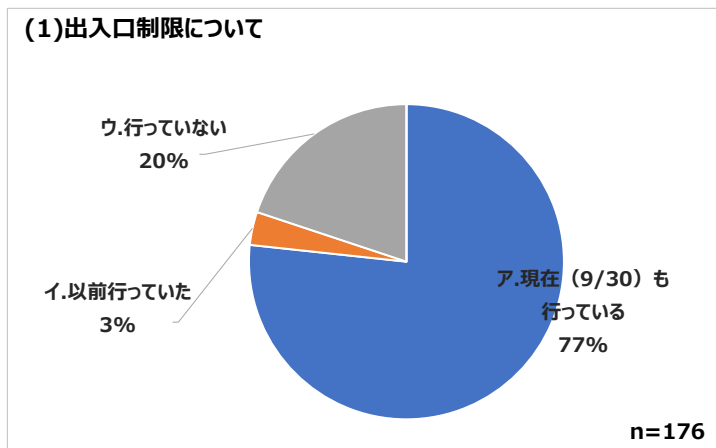
## Q2. 新型コロナウイルス患者対応について



新型コロナウイルス感染疑い患者の検査実施状況について、自治体と行政検査委託契約を行い保険請求の検査を実施している病院は52%と半数以上であったが、一方自費検査を行っている病院は8%程度に留まった。

ウ.と回答した「検査自体を行わない」または「保健所による行政検査(持込み含む)のみ行う」病院は44%であった。

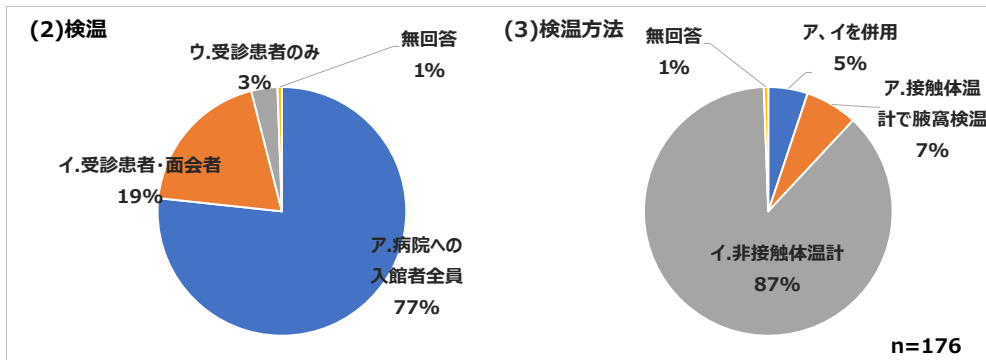
## Q3. 病院出入口・入館状況について



病院の出入口について、感染予防の目的で入退館者の動線を一定にするために9/30時点で何らかの制限を行っている病院が77%を占め、制限を行っていない病院の合計23%を大きく上回った。

また、制限を行っていない病院のうち「以前行っていた」と回答したのはわずか3%であり、出入口制限の方針を変更(緩和)した病院は少数である。

### Q3.病院出入口・入館状況について



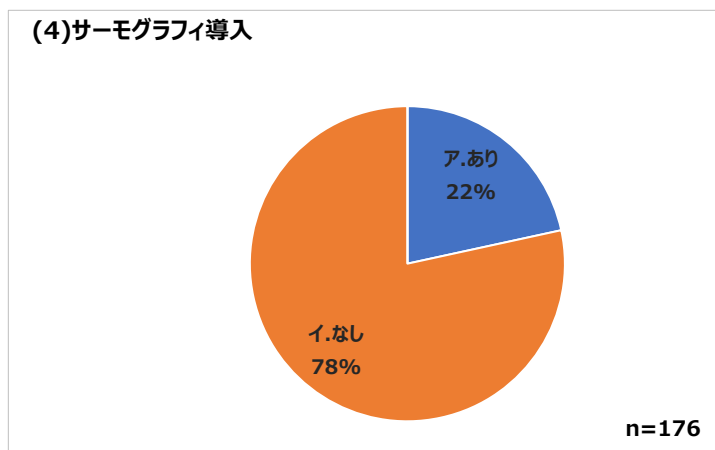
患者等の検温状況について、77%の病院が入館者全員の検温を実施している。これは設問(1)の出入口制限を実施している病院の割合と一致している。

検温方法についてはほとんどが非接触体温計による検温である。

なお、非接触体温計で異常があった場合に再度接触体温計で検温を行うケースの回答として、「ア.接触体温計とイ.非接触体温計を併用」、「イ.非接触体温計」の双方に含まれている可能性がある。

この設問(2)・(3)の回答結果から、『入館者全員に対して非接触体温計にて検温』を行っている病院の割合は相当高く、人員の配置等で病院に多くの負担が発生している状況が推察される。

### Q3.病院出入口・入館状況について



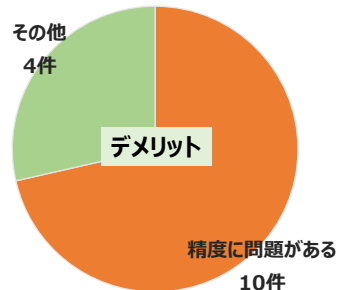
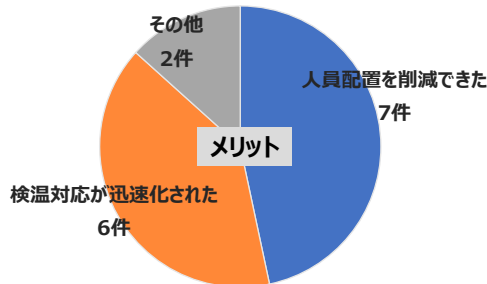
9/30時点でサーモグラフィを導入している病院は20%強のみとなっている。

非接触体温計による検温と比較すると、人員配置等の負担が少ない状況で入館者に対して検温が可能であると考えられるが、導入率は低い。

サーモグラフィ導入のメリット・デメリットに関するフリーコメントの回答内容について、次以降のスライドでまとめているので参照されたい。

### Q3.病院出入口・入館状況について

#### サーモグラフィ導入のメリット・デメリット



#### その他の回答

- ・感染対策がされているという安心感を与えられる
- ・職員の体調管理に役立っている

#### その他の回答

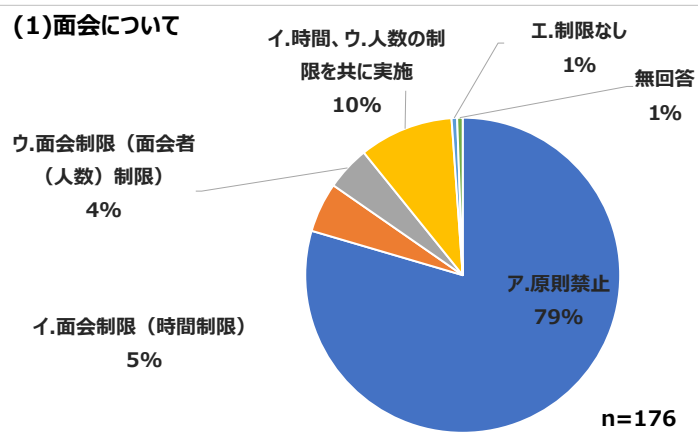
- ・不慣れな患者さんがいると往来が滞る
- ・熱い飲み物に反応しアラームが鳴る
- ・夜間にパソコンの電源を切ると履歴が消えてしまう
- ・素通り防止のためには結局人員配置が必要になる

#### 【サーモグラフィ導入のメリット・デメリット】

サーモグラフィ導入のメリットについて、人員配置の削減や検温の迅速化など効率化に関するコメントが多かった。一方、デメリットに関する内容は、外気温など使用環境により検温の精度に問題があるという意見が多数を占めた。また、「素通り対策等で人員配置の削減に寄与しない」との意見もあった。

### Q4.入院患者面会・その他状況について

#### (1)面会について

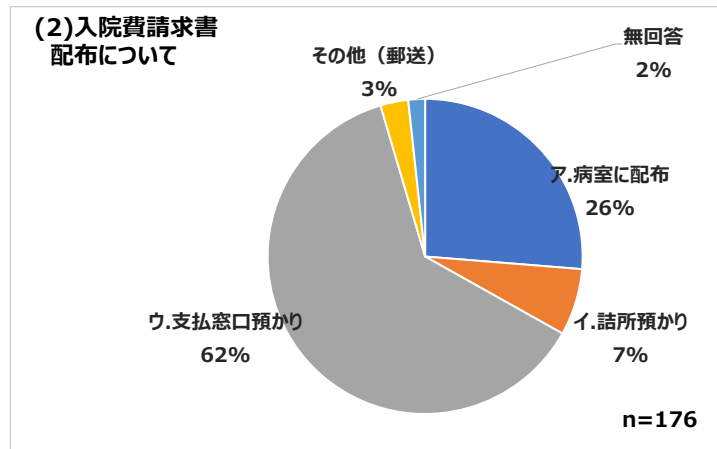


入院患者の面会については、9/30時点では80%近い病院が原則禁止としている。

面会を許可している病院でも面会者の人数、または時間、その両方などの制限をしている場合がほとんどであり、面会制限を行わない病院は1%であった。

なお、「原則禁止としているが、着替え、日用品等の持込み時に家族等の顔が見られる程度には配慮している」などの意見も聞かれた。

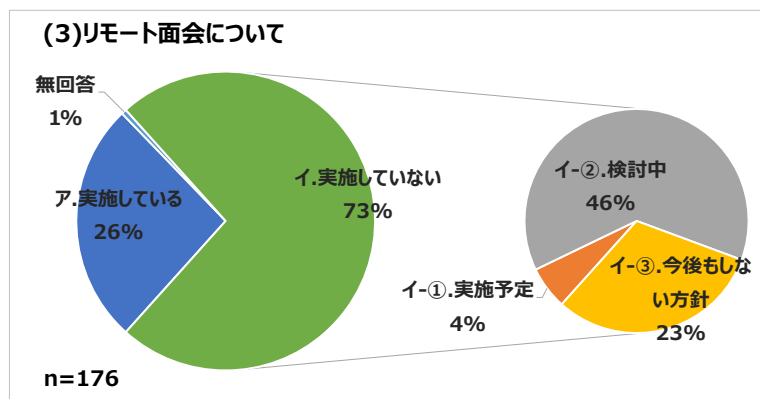
#### Q4.入院患者面会・その他状況について



入院費の請求について、通常時は一般的と思われる、「病室で患者に請求書を配布」する病院が26%で1/4程度、それ以外は病室に入室することを避け、「支払窓口で請求書を預かる」病院が62%、「病棟の詰所で預かる」病院が7%、郵送している病院が3%であった。

しかし、各病院における通常時の運用方法を調査しておらず、本設問だけではコロナ禍でどのように入院費の請求方法が変化したかについては不明のため考察できていない。

#### Q4.入院患者面会・その他状況について



Q4設問(1)のとおり面会を原則禁止している病院は80%近くあり、代替策としてリモート面会を取り入れている病院が26%あった。特に緩和ケア病棟や長期療養を主としている病棟においては常時何らかの方法で面会が可能とする必要性が高いため、積極的にリモート面会を導入したという意見があった。

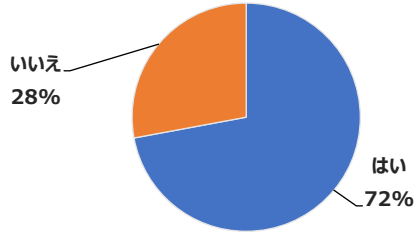
また、実施していないと回答した病院は73%だが、全体数に対して50%の病院がリモート面会について「実施予定」または「実施検討中」と回答しており、患者・家族から面会へのニーズが高く、それに応えようとしている病院が多くあると思われる。

次のスライドで、リモート面会の実施状況についての回答を取りまとめているので参考にされたい。

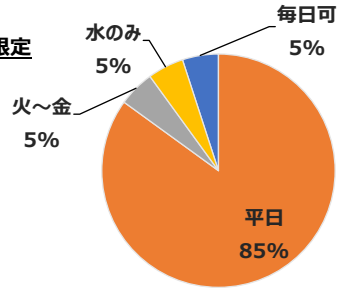
## Q4.入院患者面会・その他状況について

### リモート面会の実施状況

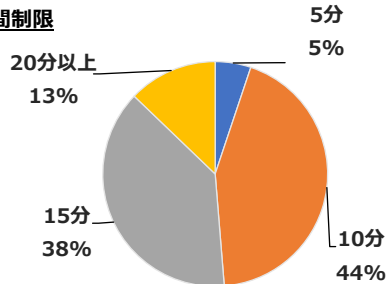
#### 予約制である



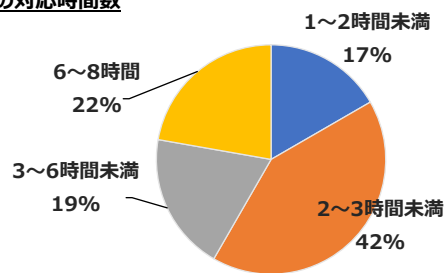
#### 曜日の限定



#### 時間制限

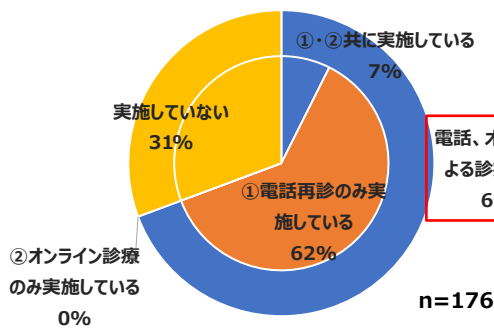


#### 1日の対応時間数

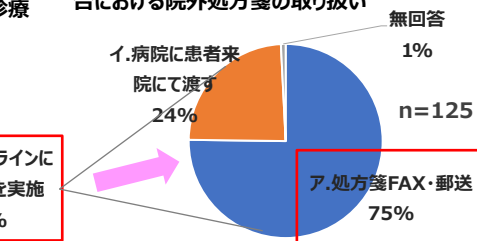


## Q5.外来診療・処方箋の交付について

- (1) ①新型コロナウイルス感染防止策としての電話再診  
②新型コロナウイルス感染防止策としてのオンライン診療

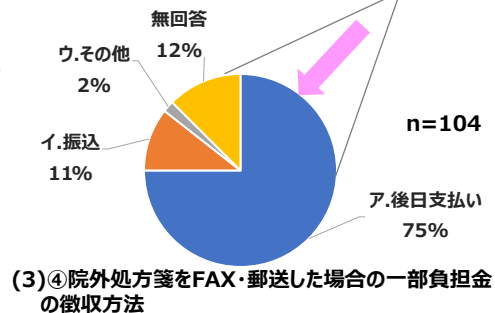


- (2) ③電話、オンラインによる診療を実施の場合における院外処方箋の取り扱い



「Q5.外来診療・処方箋の交付」について、各設問の関係性を示すとこのスライドのとおりとなる。

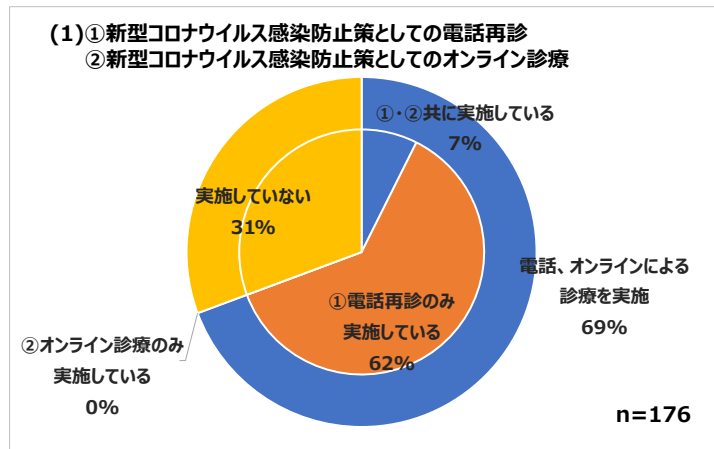
※Q5では一部設問意図とは異なる方式による回答があり、回答数の内訳に不一致が発生しているが、比率についてそのまま集計を行っている。



- (3) ④院外処方箋をFAX・郵送した場合の一部負担金の徴収方法



## Q5. 外来診療・処方箋の交付について

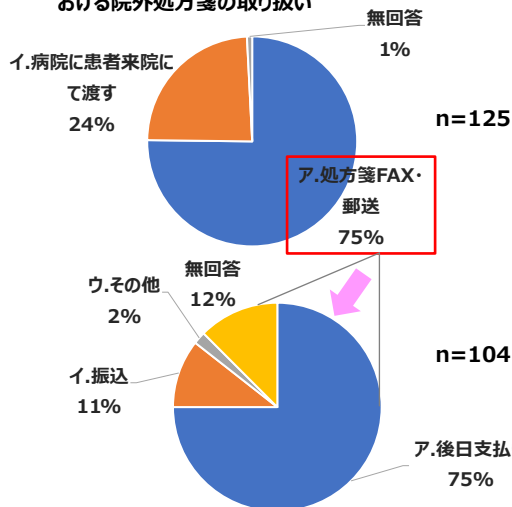


新型コロナウイルス感染を防止する観点から、電話再診またはオンライン診療を行っている病院は70%近くあった。オンライン診療のみを行っている病院はなく、電話再診、オンライン診療共に実施している病院は7%あった。

電話再診を過剰に推進すると患者の来院機会が少なくなり、病状が把握しにくいため、「症状が安定している患者が強く希望する場合のみ」など限定的な運用を行っているという意見もあった。

## Q5. 外来診療・処方箋の交付について

### (2) ③電話、オンラインによる診療を実施の場合における院外処方箋の取り扱い



### (3) ④院外処方箋をFAX・郵送した場合の一部負担金の徴収方法

設問(1)の電話再診またはオンライン診療において投薬があり、院外処方箋が発行された場合において、患者が希望する調剤薬局に「FAXおよび郵送」を行っている病院が75%、処方後、処方箋の原本を「患者に来院してもらい手渡している」病院が24%であった。

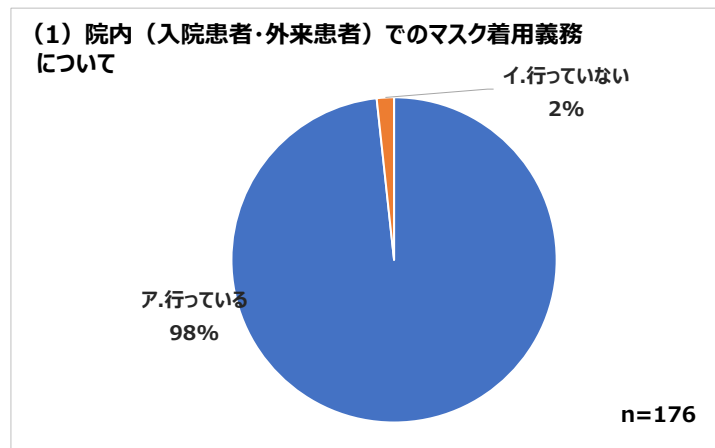
(患者来院を促す理由として、患者の状態把握や未収防止等が考えられる)

処方箋のFAXおよび郵送を行っている病院において、診療に係る一部負担金の徴収については、75%の病院が後日来院時の支払いを認めており、振込を患者に依頼する病院は11%のみであった。

その他、処方箋の郵送料金を自費で請求している、振込手数料は患者負担にしているなど、厳格に費用の請求を行っているとの意見も寄せられている。

## Q6. 自院の状況について

### (1) 院内（入院患者・外来患者）でのマスク着用義務について



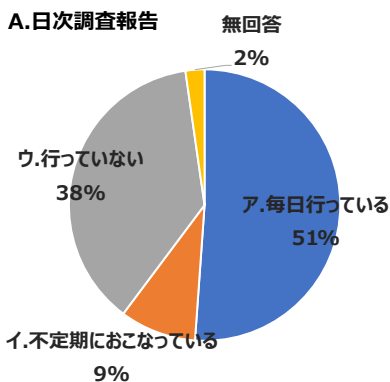
院内においてマスク着用を義務付けている病院が98%とほとんどを占めた。一部、外来のみ義務付けているという病院もあった。

マスクなしで来院した患者に対しては、キッチンペーパー等で自作したマスクを手渡す、または着用まで院内への立ち入りを拒否するなど、対応は様々である。ただし、いずれの場合も丁寧な患者対応や待合室でのトラブル回避などが必要で、病院職員の負担増が想像される。

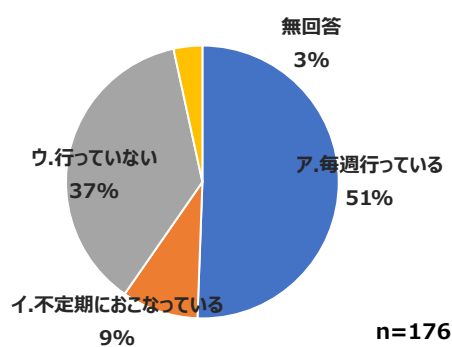
## Q6. 自院の状況について

### (2) G-MIS（新型コロナウイルス感染症に係る病院の医療提供状況調査報告）について

#### A. 日次調査報告



#### B. 週次調査報告

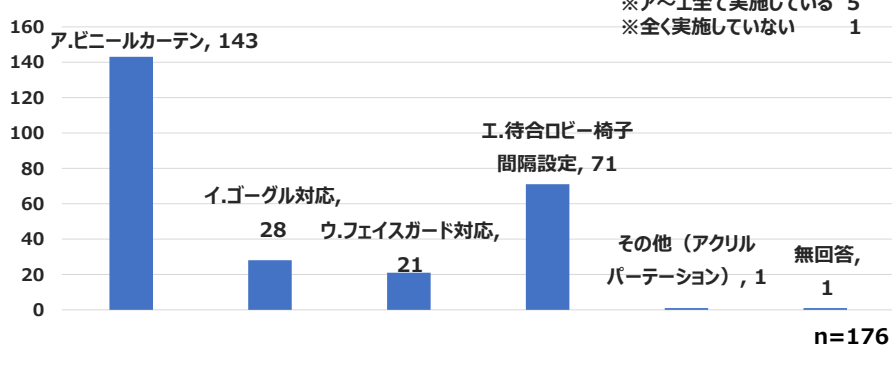


G-MISに関しては、新型コロナウイルスに関する医療提供状況の報告を全医療機関が行うとされている。→<https://covid-19-monitoring.cybozu.com/k/#/portal>

日次は平日の13:00、週次は毎週水曜日13:00までの報告が求められているが、規定された頻度で報告を実施していると回答した病院は50%程度であった。新型コロナウイルス関連の診察や検査を実施していない場合も原則報告が必要のため、ご留意いただきたい。

## Q6. 自院の状況について

(3) 医事課受付で実施済の感染防止対策（複数回答）



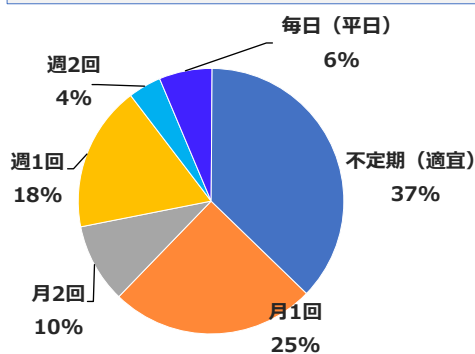
病院受付における感染防止策について、9/30時点で実施済のものとしては、ビニールカーテンを設置している病院が最も多く、143施設、81.3%であった。ビニールカーテンに関しては、声が通らずクレームに繋がりやすいとの意見もあった。

ゴーグル対応は28施設、15.9%と導入率はあまり高くないが、ゴーグル+マスクで陽性患者の対応を行った場合は濃厚接触者とはならないとされている。

待合室の椅子に間隔を設定したり、一部を使用不可にしている病院は71施設、実施率は40%。なお、選択肢の全てを実施している病院が5施設、全く実施していない病院は1施設あった。

## Q6. 自院の状況について

新型コロナウイルス感染予防対策の会議頻度



新型コロナウイルス感染予防対策の会議の頻度について、不定期、適宜と回答した病院が37%と最も多く、次いで月1回が25%であった。ただしその中には、通常の定期的な感染予防関連の会議に加えて、適宜必要時に開催している病院が多く含まれる。

週1回以上開催が合計28%、毎日開催している病院も6%あった。感染状況に応じた方針の決定、制度の新設・変更への対応など、病院が検討すべきことがかなり多く、それが会議の頻度に影響していると思われる。

新型コロナウイルス感染予防対策の会議の構成メンバー

- ・院長以下病院幹部（各部門の所属長）で構成されているという回答がほとんどであるが、ICCやICT等の既存の感染対策チームを軸に、必要に応じて各部署担当者を加えて構成されていたり、必要最小限の関連部署職員のみで構成されているとの回答も見受けられる。
- ・回答内で院長以外の医師の参加が具体的に記載されているのは回答の全体の23.7%となっている。